



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 KIホールディングス株式会社

コード番号 6747 URL <http://www.koito-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 掛川 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 田地川 章

TEL 045-822-7101

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	9,813	△27.0	1,271	△5.6	1,438	15.1	925	52.4
26年9月期第1四半期	13,446	30.4	1,347	187.1	1,249	139.2	607	51.5

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 2,214百万円 (48.4%) 26年9月期第1四半期 1,492百万円 (33.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	22.33	—
26年9月期第1四半期	14.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第1四半期	51,378	20,230	32.9	407.35
26年9月期	49,730	17,290	29.2	350.24

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 16,885百万円 26年9月期 14,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,800	4.5	4,900	1.1	4,900	4.8	3,600	11.1	86.85
通期	56,500	0.9	6,200	△11.7	6,200	△10.3	4,000	1.6	96.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期1Q	41,587,061 株	26年9月期	41,587,061 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年9月期1Q	135,287 株	26年9月期	134,110 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期1Q	41,451,875 株	26年9月期1Q	41,461,982 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

平成27年9月期の個別業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	100	△ 30.9	△ 500	△ 9.1	2,000	481.7	2,900	155.4	69.96
通 期	200	△ 35.8	△ 1,000	△ 6.3	2,800	51.2	3,700	43.5	89.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、輸出産業を中心に企業業績の改善が見られるなど緩やかな回復傾向で推移したものの、円安による物価上昇、急激な原油価格の変動など、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループのセグメント別売上高は以下の状況となりました。

輸送機器関連事業につきましては、鉄道車両機器部門及び中国子会社が売上減となったことにより、前年同期比減となりました。

電気機器関連事業につきましては、照明、情報システム、交通システムの各部門が売上減となったことにより、前年同期比減となりました。

住設環境関連事業につきましては、住設機器、環境システム両部門とも売上増となったことにより、前年同期比増となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、前年同期比27.0%減の9,813百万円となりました。

損益につきましては、原価低減及び経費削減を徹底したものの、売上の減少により営業利益は前年同期比減となりました。経常利益、四半期純利益につきましては、航空事業安全対策費の低減等により前年同期比増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は製品の増加1,691百万円、仕掛品の増加1,161百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1,414百万円増加し、37,241百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の増加434百万円、建物の減少57百万円などにより、前連結会計年度末に比べ233百万円増加し、14,137百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,647百万円増加し、51,378百万円となりました。

負債につきましては、支払手形の増加673百万円、退職給付に係る負債の減少771百万円、未払法人税等の減少333百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1,292百万円減少し、31,147百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益925百万円、少数株主持分の増加573百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2,940百万円増加し、20,230百万円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益1,438百万円、売上債権の減少2,933百万円などの増加に対し、たな卸資産の増加3,552百万円、法人税等の支払額702百万円などの減少により、763百万円の使用となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有価証券の償還による収入200百万円、投資有価証券の償還による収入200百万円などにより、380百万円の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは少数株主への配当金の支払額389百万円などにより、408百万円の使用となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は6,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ604百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月27日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務等の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更すると共に、割引率の決定方法を変更しております。

この変更に伴い期首の退職給付に係る負債が733百万円減少し、利益剰余金が712百万円増加しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、平成22年2月に国土交通省航空局より航空機シートの設計・製造過程に係る業務改善勧告を受け、運航中座席の安全性の確認作業、品質管理体制の再構築を最優先に取り組んでおり、前連結会計年度では3,937百万円の当期純利益を計上し、当第1四半期連結累計期間においても925百万円の四半期純利益を計上いたしました。

しかしながら、訴訟係属中のThai Airways International Public Company Limited他からの賠償請求は継続しており、当第1四半期連結会計期間末における損害賠償引当金は、依然として手元流動性に対して高水準の債務となっております。

当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が当第1四半期連結会計期間末においても存在しております。

当社としては、当該状況を解消すべく、航空機シート事業以外の輸送機器関連事業等をコイト電工株式会社として分社化、また固定費低減を目的とした人員削減等合理化を実施しております。

当該施策の実施により、当社は事業価値の維持・向上に努めると共に、コスト競争力の回復と活力のある組織による製品開発、販売の拡大に努め事業基盤の強化を図っております。

また、上記訴訟につきましては、法的手続きに則り、適切に対処してまいります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,558	5,574
受取手形	3,712	3,374
売掛金	14,407	12,525
有価証券	1,926	1,104
製品	3,546	5,238
仕掛品	2,384	3,545
原材料及び貯蔵品	3,816	4,815
繰延税金資産	98	95
その他	728	1,277
貸倒引当金	△352	△310
流動資産合計	35,827	37,241
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,234	3,176
構築物(純額)	23	21
機械装置及び運搬具(純額)	192	183
工具、器具及び備品(純額)	114	103
土地	3,059	3,059
有形固定資産合計	6,623	6,544
無形固定資産		
電話加入権	26	26
その他	45	40
無形固定資産合計	72	67
投資その他の資産		
投資有価証券	6,673	7,108
保険積立金	113	111
繰延税金資産	150	105
その他	279	209
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,207	7,525
固定資産合計	13,903	14,137
資産合計	49,730	51,378

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2,866	3,539
買掛金	8,034	7,782
短期借入金	7,150	7,150
1年内返済予定の長期借入金	74	74
未払金	76	65
未払費用	1,082	1,012
未払法人税等	517	184
前受金	1,352	1,406
預り金	48	118
賞与引当金	481	241
設備関係支払手形	0	1
その他	1,045	426
流動負債合計	22,729	22,003
固定負債		
長期借入金	1,127	1,109
繰延税金負債	733	958
退職給付に係る負債	5,721	4,950
役員退職慰労引当金	261	261
環境対策引当金	191	191
損害賠償引当金	1,596	1,596
長期預り保証金	64	64
その他	14	12
固定負債合計	9,710	9,144
負債合計	32,440	31,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,214	9,214
資本剰余金	8,211	8,211
利益剰余金	△4,489	△2,837
自己株式	△48	△48
株主資本合計	12,888	14,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,334	1,741
為替換算調整勘定	456	773
退職給付に係る調整累計額	△161	△168
その他の包括利益累計額合計	1,630	2,345
少数株主持分	2,771	3,345
純資産合計	17,290	20,230
負債純資産合計	49,730	51,378

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	13,446	9,813
売上原価	10,653	7,315
売上総利益	2,793	2,497
販売費及び一般管理費	1,446	1,226
営業利益	1,347	1,271
営業外収益		
受取利息	6	26
受取配当金	19	22
為替差益	116	174
雑収入	21	91
営業外収益合計	163	315
営業外費用		
支払利息	19	18
航空事業安全対策費	232	116
雑損失	8	13
営業外費用合計	260	148
経常利益	1,249	1,438
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,249	1,438
法人税等	229	205
少数株主損益調整前四半期純利益	1,019	1,232
少数株主利益	412	306
四半期純利益	607	925
少数株主利益	412	306
少数株主損益調整前四半期純利益	1,019	1,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	198	406
為替換算調整勘定	274	583
退職給付に係る調整額	-	△7
その他の包括利益合計	472	982
四半期包括利益	1,492	2,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	959	1,641
少数株主に係る四半期包括利益	532	573

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,249	1,438
減価償却費	168	93
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△62
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△81	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△45
賞与引当金の増減額(△は減少)	△83	△239
受取利息及び受取配当金	△25	△48
支払利息	19	18
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△5,897	2,933
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,028	△3,552
仕入債務の増減額(△は減少)	3,363	△34
前払費用の増減額(△は増加)	△82	△144
未払金の増減額(△は減少)	28	0
未払費用の増減額(△は減少)	163	△94
その他	266	△365
小計	△1,929	△104
利息及び配当金の受取額	39	61
利息の支払額	△20	△18
法人税等の支払額	△461	△702
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,371	△763
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	-	200
有形固定資産の取得による支出	△8	△18
投資有価証券の償還による収入	-	200
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△8	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18	380
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300	-
長期借入金の返済による支出	△18	△18
少数株主への配当金の支払額	△47	△389
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,233	△408
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	187
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,137	△604
現金及び現金同等物の期首残高	4,451	6,679
現金及び現金同等物の期末残高	3,313	6,075

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、平成22年2月に国土交通省航空局より航空機シートの設計・製造過程に係る業務改善勧告を受け、運航中座席の安全性の確認作業、品質管理体制の再構築を最優先に取り組んでおり、前連結会計年度では3,937百万円の当期純利益を計上し、当第1四半期連結累計期間においても925百万円の四半期純利益を計上いたしました。

しかしながら、訴訟係属中のThai Airways International Public Company Limited他からの賠償請求は継続しており、当第1四半期連結会計期間末における損害賠償引当金は、依然として手元流動性に対して高水準の債務となっております。

当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が当第1四半期連結会計期間末においても存在しております。

当社としては、当該状況を解消すべく、航空機シート事業以外の輸送機器関連事業等をコイト電工株式会社として分社化、また固定費低減を目的とした人員削減等合理化を実施しております。

当該施策の実施により、当社は事業価値の維持・向上に努めると共に、コスト競争力の回復と活力のある組織による製品開発、販売の拡大に努め事業基盤の強化を図っております。

また、上記訴訟につきましては、法的手続きに則り、適切に対処してまいります。

これらの対応を進め、着実に実行することにより、当該状況の解消、改善に努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、現時点では、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,986	6,064	395	13,446	—	13,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	647	227	—	875	△875	—
計	7,633	6,292	395	14,321	△875	13,446
セグメント利益	1,034	547	16	1,598	△251	1,347

- (注) 1. セグメント利益の調整額△251百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,928	4,381	503	9,813	—	9,813
セグメント間の内部売上高 又は振替高	577	242	—	820	△820	—
計	5,506	4,624	503	10,633	△820	9,813
セグメント利益	1,044	371	38	1,453	△182	1,271

- (注) 1. セグメント利益の調整額△182百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。